



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月11日

上場会社名 名古屋電機工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6797 URL <https://www.nagoya-denki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 高明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中村 昭秀 TEL 052-443-1111
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 2021年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	21,586	13.5	4,466	164.3	4,490	153.5	3,211	123.4
2020年3月期	19,025	△1.7	1,690	18.0	1,771	19.7	1,437	2.5

(注) 包括利益 2021年3月期 3,534百万円 (190.3%) 2020年3月期 1,217百万円 (△22.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	552.07	—	22.1	20.3	20.7
2020年3月期	248.20	—	11.7	9.0	8.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	24,183	16,217	67.1	2,784.39
2020年3月期	20,153	12,866	63.8	2,217.82

(参考) 自己資本 2021年3月期 16,217百万円 2020年3月期 12,866百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,226	119	△204	6,240
2020年3月期	39	△44	△134	4,098

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00	145	10.1	1.1
2021年3月期	—	10.00	—	50.00	60.00	349	10.9	2.4
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00		13.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,590	6.0	460	△49.9	370	△60.1	350	△44.5	60.09
通期	22,130	2.5	3,500	△21.6	3,530	△21.4	2,560	△20.3	440.07

(注) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後の動向次第では大きく変動する可能性があります。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2021年3月期	6,422,000株	2020年3月期	6,422,000株
2021年3月期	597,723株	2020年3月期	620,730株
2021年3月期	5,817,320株	2020年3月期	5,791,634株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,811	13.7	4,299	176.9	4,422	157.4	3,204	123.0
2020年3月期	18,297	△4.3	1,552	12.0	1,718	17.1	1,436	1.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	550.85	—
2020年3月期	248.07	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
2021年3月期	23,558	67.5	15,902	67.5		2,730.38
2020年3月期	19,881	64.5	12,813	64.5		2,208.80

(参考) 自己資本 2021年3月期 15,902百万円 2020年3月期 12,813百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありますが、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、一部では持ち直しの動きがみられました。一方、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動の影響などにより、依然としてわが国経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業であり、官需を主とする情報装置事業につきましては、老朽化したインフラの大規模修繕などもあり、公共投資は堅調に推移しております。そのような状況下、規制区間の交通安全に役立つシステムの提案などを行い市場拡大を進めてまいりました。

一方、民需を主とする検査装置事業につきましては、企業の電子部品の生産増加を背景に、設備投資は持ち直しの動きがみられております。そのような状況下、他社製品との差別化競争は激しさを増しており、機能向上による自動化や省力化など顧客ニーズに特化した製品開発に取組み、受注獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度におきましては、売上高21,586百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益4,466百万円（前年同期比164.3%増）、経常利益4,490百万円（前年同期比153.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,211百万円（前年同期比123.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・情報装置事業

情報装置事業におきましては、前年度売上計上予定案件の工期延期により当年度売上計上となったことや、受注済み案件の仕様変更による契約金額増額などにより売上及び利益が増加しました。また、収益管理強化に努めたことや、新型コロナウイルス感染症対策として、在宅勤務やオンライン会議を推進したことによる経費削減効果などにより前連結会計年度に比べ採算性は良化しました。

この結果、売上高20,440百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益5,593百万円（前年同期比162.0%増）となりました。

・検査装置事業

検査装置事業におきましては、半導体市場向けのX線検査装置の販売は堅調に推移しました。一方、主力の3次元基板外観検査装置やはんだ印刷検査装置の販売は、新型コロナウイルス感染症の影響で顧客の設備投資が抑制されたことや、前年の大型案件の反動減、新製品開発の遅延により低迷しました。

この結果、売上高1,145百万円（前年同期比53.7%減）、営業損失318百万円（前年同期は237百万円の利益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は19,655百万円（前年同期15,778百万円）となり、3,876百万円の増加となりました。これは主に、仕掛品（前年同期比181百万円減）、原材料及び貯蔵品（前年同期比104百万円減）が減少したものの、現金及び預金（前年同期比2,141百万円増）、受取手形及び売掛金（前年同期比1,693百万円増）が増加したことによるものであります。固定資産は4,528百万円（前年同期4,374百万円）となり、153百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産（前年同期比229百万円減）が減少したものの、投資その他の資産（前年同期比406百万円増）が増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は24,183百万円（前年同期20,153百万円）となり、前連結会計年度末と比べ4,030百万円の増加となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は7,914百万円（前年同期7,232百万円）となり、681百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等（前年同期比1,085百万円増）が増加したことによるものであります。固定負債は52百万円（前年同期54百万円）となり、2百万円の減少となりました。

この結果、負債合計は7,966百万円（前年同期7,287百万円）となり、前連結会計年度末と比べ679百万円の増加となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における株主資本は15,652百万円(前年同期12,624百万円)となり、3,027百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金(前年同期比3,008百万円増)が増加したもによるものであります。その他の包括利益累計額は564百万円(前年同期241百万円)となり、322百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金(前年同期比67百万円増)、退職給付に係る調整累計額(前年同期比255百万円増)が増加したことによるものであります。

この結果、純資産合計は16,217百万円(前年同期12,866百万円)となり、前連結会計年度末と比べ3,350百万円の増加となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は2,141百万円増加(前年同期は138百万円の減少)し、6,240百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は2,226百万円(前年同期は39百万円の増加)となりました。これは主に売上債権の増加額2,439百万円、仕入債務の減少額639百万円、法人税等の支払額350百万円の減少要因はあるものの、税金等調整前当期純利益4,553百万円の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は119百万円(前年同期は44百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出219百万円の減少要因はあるものの、有形固定資産の売却による収入305百万円の増加要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は204百万円(前年同期は134百万円の減少)となりました。これは主に配当金の支払額203百万円の減少要因によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	63.8	67.1
時価ベースの 自己資本比率(%)	17.3	47.5
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(%)	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	—	—

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行株式数(自己株式控除後)により計算しております。
2. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローを利用しております。
3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率は、期末有利子負債がないため記載しておりません。
4. 2020年3月期及び2021年3月期のインタレスト・カバレッジ・レシオは、利払い実績がないため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

情報装置事業におきましては、公共投資は底堅く推移していくと見込まれるものの、地震や台風などの自然災害、新型コロナウイルス感染症など、あらゆるリスクに備えた事業継続が求められます。そのような状況のなか、顧客ニーズに応えた製品開発、製品提案を行い、各地域の協力会社とともに販路拡大を進めてまいります。

検査装置事業におきましては、一部顧客において世界的な半導体の供給不足により設備投資に消極的な傾向も見られております。そのような状況のなか、3次元基板外観検査装置や3次元はんだ印刷検査装置の機能向上により商品力を高め収益性アップを目指します。

これらの状況を踏まえ、当社グループの2022年3月期の通期業績見通しにつきましては、売上高22,130百万円、営業利益3,500百万円、経常利益3,530百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,560百万円を見込んでおります。但し、現時点では新型コロナウイルス感染症の感染拡大による業績への影響は織り込んでおりません。今後、経済活動への影響が長引き、当社の業績に大きな影響がある場合、変更になる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,098,570	6,240,366
受取手形及び売掛金	8,195,677	9,889,497
電子記録債権	340,715	672,530
商品及び製品	73,006	59,375
仕掛品	2,299,428	2,118,387
原材料及び貯蔵品	694,144	589,605
その他	78,674	86,806
貸倒引当金	△1,419	△944
流動資産合計	15,778,798	19,655,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,956,531	2,727,781
減価償却累計額	△2,531,862	△2,322,567
建物及び構築物(純額)	424,668	405,213
機械装置及び運搬具	752,462	704,998
減価償却累計額	△675,139	△639,156
機械装置及び運搬具(純額)	77,323	65,842
土地	1,929,724	1,692,041
リース資産	10,839	7,236
減価償却累計額	△7,811	△5,226
リース資産(純額)	3,028	2,010
その他	1,248,976	1,337,799
減価償却累計額	△1,042,818	△1,091,994
その他(純額)	206,158	245,804
有形固定資産合計	2,640,903	2,410,911
無形固定資産		
のれん	96,335	70,645
その他	110,185	112,675
無形固定資産合計	206,521	183,321
投資その他の資産		
投資有価証券	945,857	1,017,684
繰延税金資産	151,951	70,016
退職給付に係る資産	369,242	791,350
その他	60,325	54,903
投資その他の資産合計	1,527,376	1,933,954
固定資産合計	4,374,801	4,528,187
資産合計	20,153,599	24,183,812

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	979,213	734,598
電子記録債務	3,172,103	2,623,233
未払金	777,654	938,806
未払法人税等	245,749	1,331,073
賞与引当金	439,888	596,378
役員賞与引当金	54,333	57,515
製品保証引当金	92,079	154,768
工事損失引当金	109,343	28,694
その他	1,362,132	1,449,277
流動負債合計	7,232,498	7,914,346
固定負債		
退職給付に係る負債	22,855	23,573
その他	32,075	28,840
固定負債合計	54,930	52,413
負債合計	7,287,428	7,966,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,184,975	1,184,975
資本剰余金	1,105,345	1,108,440
利益剰余金	10,784,900	13,793,182
自己株式	△451,049	△434,435
株主資本合計	12,624,170	15,652,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178,739	246,445
退職給付に係る調整累計額	63,260	318,444
その他の包括利益累計額合計	241,999	564,889
純資産合計	12,866,170	16,217,052
負債純資産合計	20,153,599	24,183,812

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	19,025,891	21,586,662
売上原価	14,251,942	13,869,567
売上総利益	4,773,948	7,717,095
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	79,567	69,223
役員報酬	158,279	140,012
給料及び賞与	889,242	945,132
賞与引当金繰入額	155,630	203,410
役員賞与引当金繰入額	54,333	57,515
製品保証引当金繰入額	62,589	73,009
退職給付費用	36,488	48,762
法定福利費	181,569	191,953
旅費及び交通費	121,746	65,941
減価償却費	50,727	50,239
のれん償却額	25,689	25,689
研究開発費	867,745	872,521
その他	400,189	507,273
販売費及び一般管理費合計	3,083,799	3,250,683
営業利益	1,690,149	4,466,412
営業外収益		
受取配当金	25,196	24,048
不動産賃貸料	41,607	19,522
売電収入	8,011	1,281
廃材処分収入	8,434	6,637
雑収入	20,612	12,210
営業外収益合計	103,862	63,700
営業外費用		
売上割引	—	7,129
減価償却費	4,362	—
固定資産除却損	1,724	7,509
支払保証料	14,228	14,670
事故関連費用	—	7,890
雑損失	2,444	2,082
営業外費用合計	22,759	39,282
経常利益	1,771,252	4,490,830
特別利益		
固定資産売却益	69,954	14,471
投資有価証券売却益	30,315	48,412
特別利益合計	100,269	62,884
税金等調整前当期純利益	1,871,521	4,553,714
法人税、住民税及び事業税	277,222	1,398,830
法人税等調整額	156,806	△56,674
法人税等合計	434,029	1,342,155
当期純利益	1,437,492	3,211,558
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,437,492	3,211,558

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,437,492	3,211,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,330	67,706
退職給付に係る調整額	△186,579	255,183
その他の包括利益合計	△219,910	322,890
包括利益	1,217,582	3,534,448
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,217,582	3,534,448
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,184,975	1,105,345	9,484,374	△473,740	11,300,954
当期変動額					
剰余金の配当			△132,710		△132,710
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,437,492		1,437,492
自己株式の取得				△32	△32
自己株式の処分		△4,256		22,723	18,467
自己株式処分差損の振替		4,256	△4,256		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,300,525	22,690	1,323,216
当期末残高	1,184,975	1,105,345	10,784,900	△451,049	12,624,170

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	212,069	249,840	461,910	11,762,864
当期変動額				
剰余金の配当				△132,710
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,437,492
自己株式の取得				△32
自己株式の処分				18,467
自己株式処分差損の振替				—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△33,330	△186,579	△219,910	△219,910
当期変動額合計	△33,330	△186,579	△219,910	1,103,306
当期末残高	178,739	63,260	241,999	12,866,170

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,184,975	1,105,345	10,784,900	△451,049	12,624,170
当期変動額					
剰余金の配当			△203,275		△203,275
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,211,558		3,211,558
自己株式の取得				△157	△157
自己株式の処分		3,095		16,770	19,866
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	3,095	3,008,282	16,613	3,027,991
当期末残高	1,184,975	1,108,440	13,793,182	△434,435	15,652,162

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	178,739	63,260	241,999	12,866,170
当期変動額				
剰余金の配当				△203,275
親会社株主に帰属する 当期純利益				3,211,558
自己株式の取得				△157
自己株式の処分				19,866
自己株式処分差損の振替				—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	67,706	255,183	322,890	322,890
当期変動額合計	67,706	255,183	322,890	3,350,881
当期末残高	246,445	318,444	564,889	16,217,052

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,871,521	4,553,714
減価償却費	181,671	195,293
のれん償却額	25,689	25,689
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	908	△475
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△61,455	156,490
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△810	3,181
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△180	62,689
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△102,743	△80,649
受取利息及び受取配当金	△25,584	△24,453
投資有価証券売却損益 (△は益)	△30,315	△48,412
有形固定資産売却損益 (△は益)	△69,954	△14,471
固定資産除却損	1,724	7,509
売上債権の増減額 (△は増加)	△625,982	△2,439,174
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△448,140	299,210
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,233	△639,916
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△263,506	468,598
その他	△116,372	25,940
小計	307,235	2,550,764
利息及び配当金の受取額	25,584	24,453
保険金の受取額	1,139	1,170
法人税等の支払額	△294,061	△350,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,899	2,226,382
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△161,844	△219,653
有形固定資産の売却による収入	140,934	305,829
無形固定資産の取得による支出	△72,549	△32,031
投資有価証券の取得による支出	△8,245	—
投資有価証券の売却による収入	57,778	73,016
その他	△790	△7,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,716	119,757
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△32	△157
配当金の支払額	△132,564	△203,066
その他	△1,437	△1,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,035	△204,343
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△138,852	2,141,796
現金及び現金同等物の期首残高	4,237,422	4,098,570
現金及び現金同等物の期末残高	4,098,570	6,240,366

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品、サービス別の事業本部又は事業部を置き、各事業本部又は事業部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業本部又は事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「情報装置事業」及び「検査装置事業」の2つを報告セグメントとしております。

「情報装置事業」は、道路情報板、車載標識等の製造販売をしております。「検査装置事業」は、基板検査装置の製造販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1, 3	合計 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,551,665	2,474,225	19,025,891	—	19,025,891
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,551,665	2,474,225	19,025,891	—	19,025,891
セグメント利益又は損失 (△)	2,134,808	237,964	2,372,773	△682,623	1,690,149
セグメント資産	11,995,320	2,523,159	14,518,479	5,635,119	20,153,599
その他の項目					
減価償却費	133,968	2,654	136,622	45,048	181,671
のれん償却額	25,689	—	25,689	—	25,689
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	166,583	965	167,549	67,433	234,982

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△682,623千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△682,623千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額5,635,119千円は、主として当社グループでの余資運用資金（現金及び預金）及び管理部門に係る資産等であります。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1, 3	合計 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,440,685	1,145,977	21,586,662	—	21,586,662
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,440,685	1,145,977	21,586,662	—	21,586,662
セグメント利益又は損失(△)	5,593,302	△318,688	5,274,613	△808,201	4,466,412
セグメント資産	15,558,220	1,184,204	16,742,425	7,441,387	24,183,812
その他の項目					
減価償却費	152,160	3,050	155,210	40,083	195,293
のれん償却額	25,689	—	25,689	—	25,689
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	221,349	4,471	225,821	33,622	259,443

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△808,201千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△808,201千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額7,441,387千円は、主として当社グループでの余資運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,217.82円	2,784.39円
1株当たり当期純利益	248.20円	552.07円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	12,866,170	16,217,052
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,866,170	16,217,052
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,801,270	5,824,277

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,437,492	3,211,558
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,437,492	3,211,558
普通株式の期中平均株式数(株)	5,791,634	5,817,320

(重要な後発事象)

該当事項はありません。